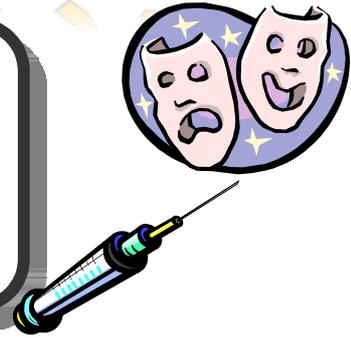


薬物の乱用をなくそう！

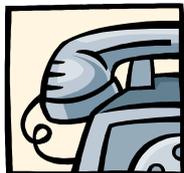
日本では、覚せい剤、大麻、コカイン、MDMAなどの薬物が乱用されています。

薬物を乱用すると、急性中毒によって死亡することがあるほか、その薬理作用から幻覚、妄想等の精神障害に陥り、殺人、強盗、放火等の凶悪な犯罪や重大な交通事故等を引き起こす場合があります。



「一度だけ」という好奇心や遊びのつもりでも、薬物の依存性などによって、乱用する量や回数がどんどん増えていくという悪循環に陥り、自分の意志では止めることができなくなります。

また、乱用を止めても、睡眠不足や過労、ストレス、飲酒等をきっかけに、突然、幻覚や妄想などの精神障害が現れるフラッシュバックが起こることがあります。



迷わず相談窓口へ

薬物の乱用問題に関する相談電話



県	名称	番号
青森	けん銃・薬物 110 番	017 - 735 - 1074
岩手	警察安全相談電話	019 - 654 - 9110
宮城	銃器・覚せい剤 110 番	022 - 266 - 1074
秋田	覚せい剤相談電話	018 - 823 - 0110
山形	けん銃 110 番・覚せい剤相談	023 - 635 - 1074
福島	警察安全相談電話	024 - 533 - 9110

[覚せい剤]

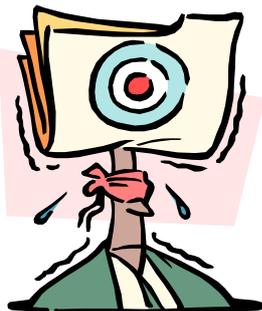
白色の粉末や無色透明の結晶で、俗に「シャブ」「クスリ」「S(エス)」「スピード」などと呼ばれていますが、「ヤーパー」と呼ばれる錠剤型もあります。覚せい剤には、神経を興奮させる作用があり、乱用すると眠気や疲労感を感じなくなりますが、そのような効果は数時間で切れ、その後は激しい脱力感、疲労感、倦怠感に襲われます。

[大麻]

大麻草の葉を乾燥させた「乾燥大麻(マリファナ)」、樹脂や若芽をすりつぶして固めた「大麻樹脂(ハシッシュ)」などがあります。大麻を乱用すると、視覚、聴覚、味覚、触覚などの感覚が過敏になるため、思考が分裂し感情が不安定になったりします。また、幻覚や妄想に襲われたり、毎日ゴロゴロして何もやる気のない状態となる「無動機症候群」に陥ることもあります。

[MDMA]

化学薬品から合成された白色結晶性の粉末で、一般的には錠剤やカプセルの形で密売されています。別名「エクスタシー」とも呼ばれており、多幸感や他人に対する親近感が増したりするといわれていますが、その反面、不安や不眠、錯乱状態に陥ることがあるほか、腎・肝障害や記憶障害などの症状が現れることもあります。



脱法ドラッグに手を出すな！！